

# アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

これまで発行した、まちづくりニュース第1号、第2号を通して、まちづくりに対するご意見を数多くいただきました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

集計結果の概要を、以下にご紹介いたします。

※詳細は、区のホームページに掲載しています。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/machidukuri/chiiki/kamiitabashi/1055205.html>



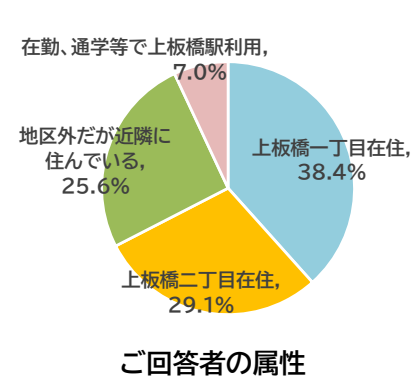
## ■ニュース第1号では、「まちづくりの方向性」について、ご意見をうかがいました

募集期間:令和6年11月11日～12月6日

募集方法:インターネット回答および紙回答(地区内に戸別配布、駅構内ほか公共施設等に設置)

回答件数:87件 (内訳:インターネット回答58件、紙回答29件)

### ○回答結果



	設 問	良いと思う	良いと思わない	その他
地区全体	めざす都市像やライフスタイル	64(76.9%)	11(13.1%)	9(10.7%)
	まちづくりの方向性(4つの提案)	64(78.0%)	9(11.0%)	9(11.0%)
上板橋一丁目	まちづくりの方向性	66(79.5%)	9(10.8%)	8(9.6%)
	安全・安心のための4つの提案	67(85.9%)	4(5.1%)	7(9.0%)
上板橋二丁目	まちづくりの方向性	62(78.5%)	6(7.6%)	11(13.9%)
	保全・育成のための4つの提案	64(84.2%)	3(3.9%)	9(11.8%)
駅前地区	まちづくりの方向性	59(72.8%)	12(14.8%)	10(12.3%)
	にぎわい・魅力のための4つの提案	63(80.8%)	6(7.7%)	9(11.5%)

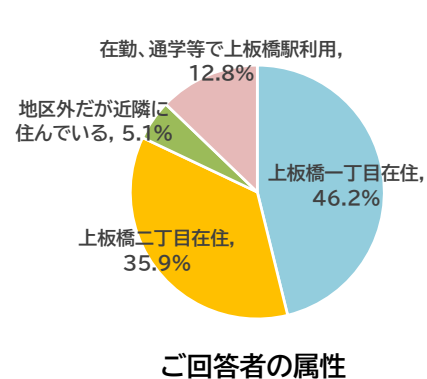
## ■ニュース第2号では、「6つの顔づくりプロジェクト」と「7つのゾーニングとゾーンごとの方針」について、ご意見をうかがいました

募集期間:令和6年12月11日～令和7年1月7日

募集方法:インターネット回答および紙回答(地区内に戸別配布、駅構内ほか公共施設等に設置)

回答件数:39件 (内訳:インターネット回答22件、紙回答17件)

### ○回答結果



	設 問	良いと思う	良いと思わない	その他
顔づくりプロジェクト	①多様な機能を持つ「新たな駅前づくり」	29(76.3%)	6(15.8%)	3(7.9%)
	②公園都市の骨格軸となる「グリーンプロムナードづくり」	33(91.7%)	2(5.6%)	1(2.8%)
	③安心して買い物を楽しめる「賑わいプロムナードづくり」	33(86.8%)	3(7.9%)	2(5.3%)
	④火災や災害に備える「防災まちづくり」	36(94.7%)	2(5.3%)	0(-)
	⑤豊かな住環境をつくる「潤いのあるまちづくり」	33(89.2%)	1(2.7%)	3(8.1%)
	⑥五本けやきを活かす「緑のシンボルづくり」	31(83.8%)	4(10.8%)	9(11.8%)
7つのゾーニングとゾーンごとの方針について		29(82.9%)	4(11.4%)	2(5.7%)

お問い合わせ先

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課 上板橋駅南口係

住 所:〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号

電 話:03-3579-2556 FAX:03-3579-5437

Eメール:m-kmachi@city.itabashi.tokyo.jp

上板橋  
駅南口  
周辺地区

まちづくりニュース

第3号

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課 上板橋駅南口係

令和7年2月

## 上板南口の将来に向けた指針(ビジョン)づくり

再開発事業の進展や東武東上線の準急停車など、まちの変化が始まった『上板南口』(上板橋駅南口周辺地区)において、変化の先にめざす「地域の将来像」を、指針(ビジョン)としてまとめ、今後のまちづくりの具体的な取組につなげます。

ビジョンへの意見募集  
(パブリックコメント)  
を実施します。詳しくは、  
見開き面をご覧ください。

## 『上板南口まちづくりビジョン(案)』の概要



ビジョン(案)の  
詳しい内容は  
区ホームページに  
掲載しています

### 第1章 地区の状況とまちづくりの方向性

若者に選ばれやすく、駅利用者が増えているポテンシャルを活かし、特徴あるライフスタイルを創造します。

緑・学び・健康・にぎわい・多世代の交わり



『上板橋だから住みたい、移り住みたい』

### 第2章 めざす都市像「新たな公園都市」 ～人々が混ざり合い、つながる緑豊かなまち～

- 1 まちの顔となる緑をつなぐまち
- 2 様々な人が混ざり、ライフスタイルをつなぐまち
- 3 防災とヒューマンスケールが共存するまち



緑化率が30%を超え  
四季折々の緑を感じられる  
新たな駅前広場

緑豊かで人々が混ざり合う都市をめざします

### 第3章 ゾーンごとのまちづくりの考え方(案)

⇒ 見開き面をご覧ください

### 第4章 緑とモビリティの ネットワーク形成をめざして

- ・連続するグリーンプロムナードの形成
- ・将来の交通を見据えたモビリティハブ環境整備
- ・将来の鉄道立体化を見据えた緑による南北の連携

緑やモビリティ(移動手段)で地域をつなぎます

### 第5章 実現に向けて

2025 → 2030 →

Step 1 ベースとなる ルールづくり	Step 2 スキームの構築 と合意形成	Step 3 緑とモビリティの ネットワーク形成
都市計画(地区計画) 新たな防火規制 樹木の保存等	緑環境の整備 防災性の向上 商店街活性化 モビリティ環境整備等	将来の都市計画道路整 備や東武東上線立体化 を見据えたまちづくり

将来を見据えながら、段階的に取り組みます

### 第6章 次世代に愛着をつなぐ ～開かれた参加のプロセスをデザインする～



植物の種くばり  
(グリーンファンド)

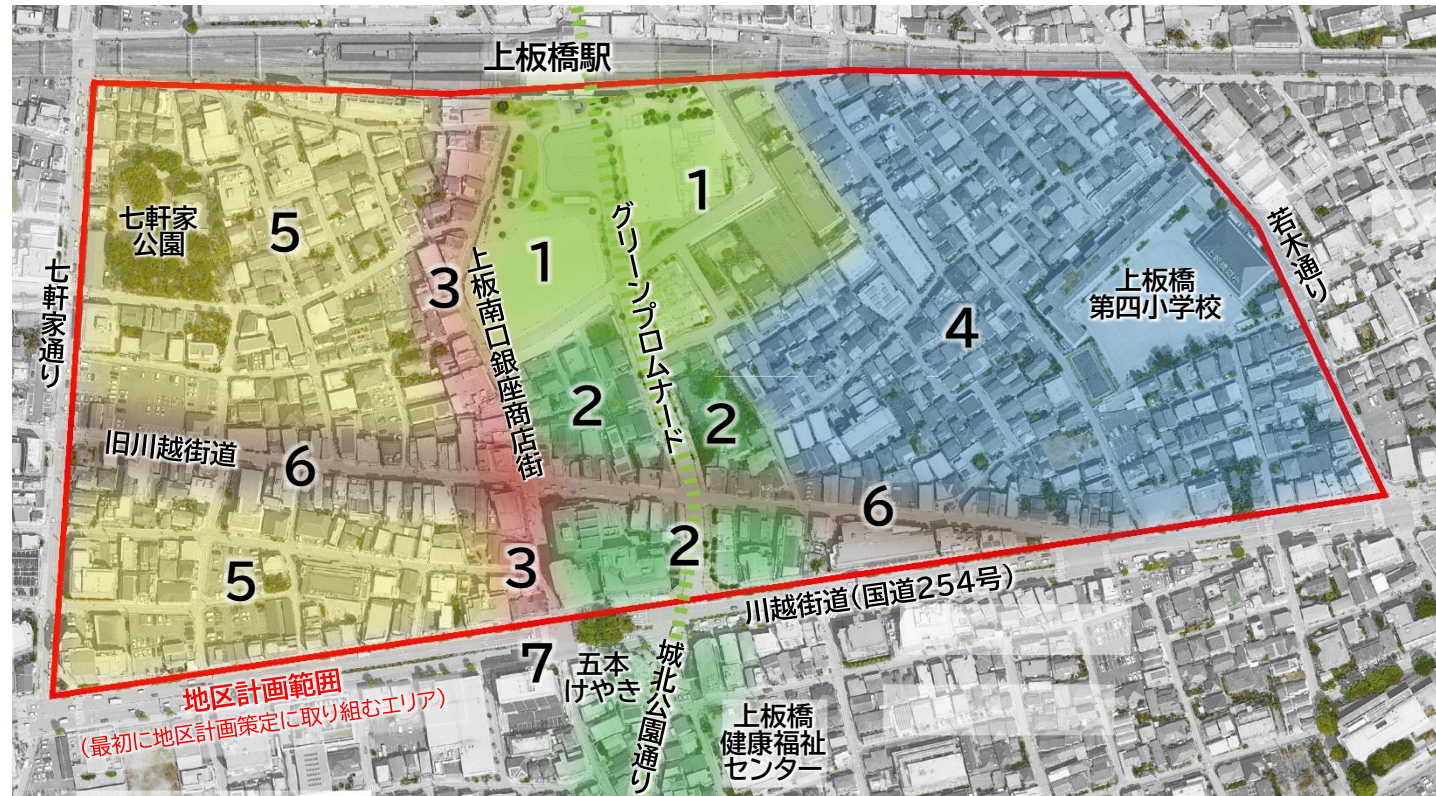


プランターづくり  
ワークショップ

培ってきた愛着をつなぎ、未来への礎とします



## 第3章 ゾーンごとのまちづくりの考え方(案)



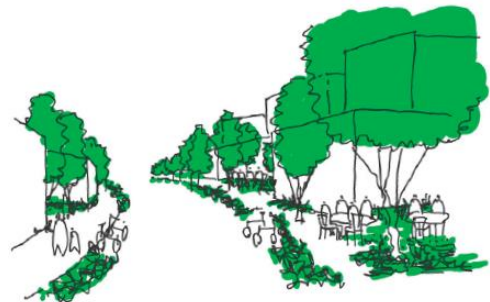
### 1 再開発事業・共同化によってまちの顔づくりを進めるゾーン

- 駅前地区にふさわしい建物用途や高度利用を再開発事業等により誘導します。
- 新たな公園都市の顔となる緑環境の整備を官民が連携して行いつつ、官民が連担して維持管理を行うスキーム構築を行います。
- 日常的な憩いに加え、大きなイベント時や災害時にも活用できる空間としていきます。全体で良質な空間になるよう建物デザインを誘導すると共に、サイン・照明等のデザインを整え、官民が一体となって空間を演出します。



### 2 新たな街並みを形成する区画街路沿道ゾーン

- 新たな公園都市のシンボルとなるグリーンプロムナードは、官民が緑の環境整備を連携し、維持管理スキーム含めて連担しながら緑豊かな街並みを形成します。
- 新設される区画道路は、自動車や自転車の幹線道路からのアクセスルートになります。沿道で不燃化・共同化を促進し、地域の防災の軸を形成するため、一定の高度利用を図ることも視野に入れた検討を行います。
- 緑豊かな住環境を活かしながら、駅近接の立地を活かした一定規模の都市機能や施設の確保を図ります。

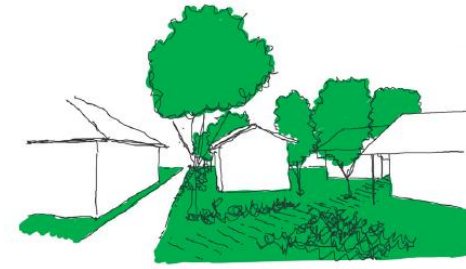


### 3 ヒューマンスケールを維持しながら商店街の賑わいを再生するゾーン

- 再開発事業や街路事業等と連動して、回遊性のある商店街通りの活性化を図り、駅前から桜川地域へと連続するにぎわいの軸を形成します。
- 古くからの商業集積を活かし、官民が連携した空間形成により、ヒューマンスケールの親しみある商店街を維持します。
- 区画道路の新設を活かして、荷さばきや駐車場ルール等、商店街への自転車、自動車の流入を抑制する方策を検討し、商店街での歩行者の安全性を向上させた空間とします。



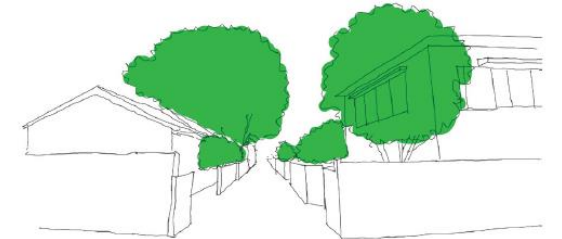
### 4 防災性の向上を図る密集住宅地ゾーン



- 低未利用の空地进行を有効に活用し、空間をつないでいくことで、まちの骨格、スケールを維持しながら防災性の向上を図ります。
- 空地は緑とモビリティのネットワークとして位置付け、地域と共に運用していく姿をめざします。
- 建築物に対する防火規制の強化やブロック塀の規制等を行いつつ、老朽家屋の除却等により空地の創出を誘導するスキームを構築し、火災や避難への対応力を高めます。

### 5 良好な住環境を保全向上する住宅地ゾーン

- 屋敷林などの地域の貴重な緑を積極的に保全していきます。
- 土地区画整理事業により整備された緑豊かで良好な住環境や景観を保全し、向上させていきます。



### 6 旧川越街道沿道街区ゾーン

- 朝夕を中心に国道の渋滞を回避する抜け道利用の通過交通が多いため、歩行者中心の空間づくりをめざします。
- 街区としては抜けの先に緑が見える、屋敷林が持っているヒューマンスケールを維持した沿道の街並みをめざします。

### 7 五本けやきを活かした緑豊かな川越街道沿道街区ゾーン

- 今後も幹線道路としての機能は維持しつつ、シンボルである五本けやきを中心に地区のゲートとなる街並み景観を形成していきます。
- 既存の沿道地区計画により、川越街道の道路交通騒音により生じる障害の防止や延焼遮断帯の形成に向けた規制誘導が図られています。

## パブリックコメント(意見募集)のお知らせ

### 「上板南口まちづくりビジョン(案)」に対するご意見を募集します

期 間 令和7年2月19日(水) ~ 3月11日(火)  
※郵送の場合、当日消印有効

閲覧場所 地区整備課(区役所5階15窓口)・区政資料室(区役所1階7窓口)  
各地域センター・各区立図書館・区ホームページ

提出方法 以下のいずれかの方法で、ご意見をお寄せください

#### 【方法① インターネットでの回答】

右上の二次元コードを読み取っていただくか、  
<https://logoform.jp/f/ea7Hl> からご回答ください

#### 【方法② 紙での回答】 駅や地域センター等での回収は行いません

右の必要事項をご記入のうえ、ご提出ください(様式は任意)

#### ○直接または郵送の場合:

〒173-8501 東京都板橋区 2-66-1 地区整備課宛て

OFAXの場合: 03-3579-5437

OEメールの場合: m-kmachi@city.itabashi.tokyo.jp

#### 記入が必要な事項

- ①氏名または法人・団体名(法人・団体の場合は代表者氏名を併記)および住所
- ②電話番号
- ③区外にお住まいの方は、勤務先または通学先の名称と所在地
- ④区内で活動する(通勤・通学を除く)個人および法人その他の団体の場合は、その活動内容
- ⑤上板南口まちづくりビジョン(案)に対する意見

